



宇津木台 森遊会 「定例活動」

第3回 実施報告

No.2011-03

実施日	2011年8月21日（日曜日）10:00～15:00	天候:雨時々曇り	記録:金森
場所	宇津木台緑地（八王子市久保山町2-1）		
参加者	参加者:5名（男性4、女性1） 衣川、北澤、林、中田（直）、中田（美） 講師:角田氏（神奈川県森林インストラクター）、インストラクター:金森		

実施内容

初年度全10回活動の第3回目。オリンパス技術開発センター宇津木従業員玄関に10時に集合。

会社連休中のため帰省などで参加者は少なめ、しかも急な気温の低下による体調不良で参加予定の2名がキャンセルしたため少々淋しい活動となったが、シュロバツタを習得でき、達成と満足感があった。

宇津木事業場会議室にて雨対策や蚊取り線香など身支度を整えフィールドへ向かう、途中の細い歩道は草が胸の高さまで伸びて雨に濡れていたため、防水着用の者から先頭を歩き露をはらう。

植生調査地を観察しシダや若葉が出始めていることを確認した。椎茸のホダ木は変化なし。

実施二日前に仕掛けておいた昆虫トラップ（3箇所計6個）を確認する。2箇所は犬かカラスと思われる動物に掘り出されて収穫無し。1箇所に大量のシテムシやその幼虫が入っていた。但し、大雨で溺死しており異臭を放っていた。数と種類の多さから雑木林としては生態系が豊かなようだ。今後は定期的に定点にトラップを仕掛けて整備に伴いどう変化してゆくか記録する。他のトラップ方法も解説。

緑地に1本ある5m程のシュロを伐採する（放火遊びなど緑地では歓迎されない存在）。ヤシの仲間としてのシュロの特徴（年輪が無い）などを説明した後、クラフトに使いそうな葉を選別して持ち帰る。

会議室にて昼食後、角田講師からシュロバツタの編み方を教わる。みなさん習得が早く、過去にないよい優秀な生徒として褒められた。一人あたり2、3匹作って、現地調達した台に乗せ、バツタの大群を堪能し撮影会となった。余ったシュロの葉は練習用に持ち帰った。集合写真を撮り15時に解散。



植生調査地に若葉が出現



昆虫トラップにかかったシテムシなど 全て溺死していた



シュロの伐採



シュロには年輪が無い



シュロバツタ作り教室



バツタの大群？



角田講師ありがとうございました

連絡事項

- ・怪我、ヒヤリハットはなし。
- ・緑地のゴミを入れたボランティア袋の発生なし。
- ・植生調査地の仕切りロープが何者かによって切られた。いたずらと思うので、修復して様子を見る。